

浦部 浩之(言語文化学科教授)分担執筆

『現代地政学事典』

丸善出版 2020年1月 24000円

私達をとりまく現代社会について、「空間」「人々」「境界」から、「私達は何におびえ、どう乗り越えるのか」を問おうとする学問、地政学。海外の研究成果も紹介しつつ、大きく6章で構成。地球社会の脅威を認識し乗り越えるための「新しい地政学」の構築を目指す一冊。



本箱 *Books column*

本学の先生方が執筆された新刊情報。授業の中だけでは見られない先生の違った一面に触れることができます。

片山 亜紀(英語学科教授)訳
(ヴァージニア・ウルフ 著)

『幕間』

平凡社 2020年2月 1400円

ヨーロッパ各地で独裁者が台頭し再び戦争の影が迫りつつあった頃。英国の古い屋敷では野外劇が上演されようとしていた。一昼夜の出来事に、田園の日常と、時代の気配を見事に描き出したヴァージニア・ウルフの遺作、待望の新訳。



山口 誠(交流文化学科教授)著

『客室乗務員の誕生
「おもてなし」化する日本社会』

岩波書店 2020年2月 840円

日本独自の発展を遂げ、就職先として盤石の人気を誇る「CA(キャビン・アテンダント)」。日本の客室乗務員の歴史を通観し、「接客マナー」と「自分磨き」の技法と思考が独特な「おもてなし」の源流となっていく過程を考察する。



藤村 好美(経済学科非常勤講師)分担執筆

『生涯学習のグローバルな展開
ユネスコ国際成人教育会議がつなぐSDG4の達成』

東洋館出版社 2020年2月 2400円

成人教育をめぐる国際的動向を整理しつつ、日本の生涯学習・社会教育の課題を捉え直し、その方向性を展望していく。グローバルな視点で捉えることで、いま話題のSDGsについても考察。日本のこれからの生涯学習の在り方を提案した一冊。



山内 敏弘(名誉教授)著

『安倍改憲論のねらいと問題点』

日本評論社 2020年3月 2000円

安倍改憲論のねらいと問題点を、自民党が発表した自衛隊の9条加憲などの4項目の改憲案に即して具体的に明らかにする。

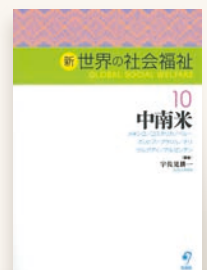


浦部 浩之(言語文化学科教授)分担執筆

『新世界の社会福祉 第10巻 中南米』

旬報社 2020年3月 第Ⅱ期6巻セット60000円

世界の社会福祉が俯瞰できる比類のないシリーズの第10巻。「児童虐待」「貧困と格差」「障害者福祉」など、国内はもちろん世界的にも注目されるテーマについて、中南米の各国がどう対処しているのかを紹介。日本との比較研究に最適な資料。



浦部 浩之(言語文化学科教授)分担執筆

『資源地政学
—グローバル・エネルギー競争と戦略的パートナーシップ』

法律文化社 2020年3月 2700円

「持続性」概念から地政学的経路や障壁を俯瞰したうえで、資源貿易が政治体制や民族問題の構図にどのような影響を与えているのかを考察。地政学的観点から資源をめぐる国際政治動向を学ぶことができる一冊。



立田 ルミ(名誉教授)編・著
今福 啓(経営学科教授)、堀江 郁美(経営学科教授)著

『実践に役立つ情報処理
—基礎から応用まで—2020年度版』

日経BP社 2020年3月 1900円

大学での情報処理の授業で課題を達成するにはどのように利用すればいいか、コンピュータでどのように問題を解決していくか、という実践的な観点で解説。Webページの作成やプログラミングの基礎についても学べる教科書。



ヴェスイエール・ジョルジュ(フランス語学科専任講師)著

『仏検4級・5級対応
クラウン フランス語単語 入門』

三省堂 2020年4月 1600円

「フランス語で伝えてみたい」という声に応える基本単語帳。ナチュラルな例文と、会話で使える実践的ダイアログで「発信力」を高める。名詞の性が感覚的に覚えられるよう、女性・男性の声で収録された音声データも無料配信。基本1500語レベル。



■ 獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。